



清 泉

令和 6 年 5 月 1 5 日
昭島市立清泉中学校
校長 佐藤 晴美

昭島市立清泉中学校 〒196-0024 昭島市宮沢町1-9-1
電話042-541-0762 FAX042-541-6869 <http://www.city.akishima.ed.jp/~seisen/>

人権尊重の精神を基調とし、社会において信頼される人間性豊かな生徒の育成を目指す

深化する清泉中

「豊かに、たくましく そして 創造的に」

昭和36年4月1日に清泉中学校が創立され、5月15日に開校式が挙行されました。その日を記念して、この日を開校記念日としたのです。その当時の学校はどんな様子だったのでしょうか。そして、どのような学校にしていこうと当時の生徒、教職員、保護者・地域は考えていたのでしょうか。現在の清泉中学校はその思いを受け継いでいるのでしょうか。

これまで清泉中の関わっていただいた先人が築いてくださった「清泉中のよさ・強み」を生かし、その上で、今、「私たちは何をすべきか」「何をやりたいのか」について豊かな視点で考える。そして、その考えに到達するまでに段差や壁があっても簡単にあきらめることなく、創造的に「どうする?」「そうだ!」とみんなで知恵と力を出し合い、たくましく切り拓いていく学校にしていきます。「現状維持」だけでは、“維持”はできないと思うのです。現在、生徒会を中心に、校則などそのメリットとデメリットについて考え、今後自分たちはどのような行動をとるべきか、試行錯誤しながら新たな一步を模索しています。また、教職員も生徒の「考え」をいかに引き出していくか、生徒が主体的である授業や行事をどのように作っていくか研究を進めています。

令和6年度の取組

①1人1台タブレットの活用

- ・毎日タブレットを持ち帰り、自学自習や課題（宿題）のツールとします。
- ・2学期から「学びのポケット」を活用した家庭との連絡、及び学校への情報発信を行います。

②「何のために」を重視

- ・大人でも理由が分からなければ納得もできないし、意欲的に取り組むことができません。授業はもちろん、そのための活動においても、「何のために」を明確にして教育活動を行っていきます。

③生涯にわたる学び

- ・保健体育科は男女共習で行います。体力や技能の程度、性別や障害の有無に関わらず運動の多様な楽しみを共有することがねらいです。もちろんペアやグループの編成など配慮していきます。

④昭島市教育委員会研究指定校

自らの考えを生かす「学び」の創造

生徒の「わかるようになりたい」「できるようになりたい」、「さらに学びたい」などの意欲を醸成し、その「考え」を授業や行事に生かしていく指導方法を研究していきます。



その他にも、長期休業日を中心に「自学自習のための教室開放」や、漢検・英検・数検を年3回実施するなど、新しい取組を始めます。

⑤清泉中がコミュニティ・スクール（学校運営協議会を置く学校）に

- ・コミュニティ・スクール（以下CS）とする目的として「学校と保護者、地域住民等との信頼関係を深め、学校運営の改善並びに生徒の健全育成に取り組む」ことが示されています。CS委員は、それぞれの立場からの意見や力を出し合い、生徒たちが「通いたい」と思える、保護者が「通わせたい」と思える、そして清泉中に関わるみなさまが「誇り」に思える学校となるよう努めていきます。

- ・清泉中として「献立コンクール」を行います。食べることは生涯にわたって続く基本的な営みです。「食べる力」＝「生きる力」。家庭科での栄養学の学び、社会科での経済や地場産業の学び、保健体育科の心身の学びなどを中心に今までの知識や経験を生かすことをねらいとしています。コンクールの審査員としてご家族の方も参加していただこうと考えています。また、優秀者への副賞は「●●にその献立を入れる」ことを私は考えています。
*詳細は後日お伝えします。

